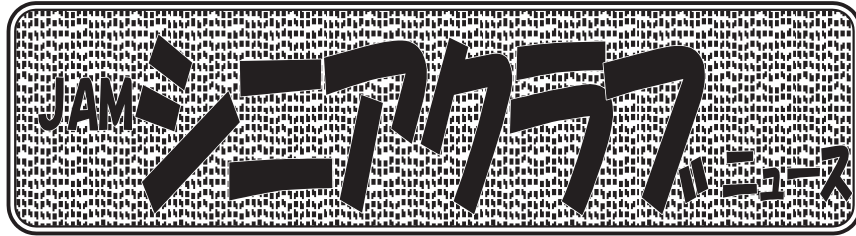


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第128号

発行日 2018年4月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-5440-7388 fax03-5440-7389

日本退職者連合

働く高齢女性の労働運動を

第7回男女平等参画推進学習会

3月2日、東京の連合会館で、退職者連合主催の「男女平等参画推進のための第7回学習会」が開かれた。この学習会には産別の退職者組織と地方の退職者連合から134人が参加。JAMからは大山会長、東京シニアクラブの増子さん、井上さんが出席し、低所得高齢単身女性問題に取り組み退職者連合の議論に参加した。

学習会の冒頭、主催 加者のみなさんが低所得者代表として男女平等参画推進委員会の武田 得高単身女性の問題について考えていく機会について提起した。邦明委員長から、「参 会になってほしい」と 来賓の井上美枝子連合



総合男女・雇用平等局長は挨拶で、「現役で働いているときの条件

がそのまま60歳以降の生活につながっていることが問題。「退職者連合の皆さんの熱意をひしひしと感じており、私たち現役も負けられない」と会場の熱気を受け、低所得高齢単身女性問題には現役と退職者が連携して取り組んでいくことの重要性を強調した。その後、和光大学現 代人間学部教授でジャ

2014年「集团的自衛権の行使容認」を閣議決定。2015年安保法制

戦争法の強行成立。2017年共謀罪の強行採決と戦争する国づくりを進めて来た。そして、最近では南スーダンの日報、加計学園獣医学部新設に関する文科省メモ、裁量労働

制に関するデータ、森友学園への国有地売却の決裁文書と官僚が作る文書の隠ぺい、改ざん、ねつ造といった問題が続いている。まさにバカにされているんだなあとと思うしかない。

隠ぺい改ざんねつ造そしてカジノ

安倍さんもう辞職して

宮城シニア代表幹事 佐藤 栄一

3月27日「刑

引は許されない」と論じている。

また、現役時代にも定職を持たず連日



主張

事訴追の恐れがある」と50回以上繰り返す一方、政治家関与につ

沸点に達する私は、すぐチャンネルを変えてしまう。これではダメだ。しっ

「多大な経済効果」「地域経済活性化」等というが、人を墮落の道に進める罪

入場料や入場回数に制限はあるものの入り浸りを公認するものには他ならない。私と同世代の人が年金受給日郵便局に並び、直ちにパチンコ店に。

ナリストの竹信三恵子氏が「高齢女性の貧困、家事ハラ社会と私たち」と題して約90分にわたって講演した。講演では高齢女性の貧困を生む要因について、「現役時代の低賃金と結婚や出産で継続的に働き続けられないこと、夫の死別や離別」の3点をあげられた。しかも男女比で見ると、ほぼどの世代においても女性の貧困率が高く、単身女性の3人に1人が貧困の実態にあると分析データを提示しながら、男女雇用機会均等法は「女性の低所得問題を解決しなかった」ことを指摘した。そのうえで働く高齢女性が増えている現状をふまえ、高齢女性の労働運動の必要性を提起し講演を終了した。その後退職者連合では3月14日の第4回幹事会で一人暮らしの高齢者、とりわけ低所得高齢単身女性が日々の暮らしに直面している課題の解決に向けて、国ならびに地方自治体に対する8項目の政策制度の要求を確認した。

全国各地で続々と政策制度の学習会

京都に続き、岐阜・愛知で開催

知 じつくり考え議論を深める

愛 「憲法とはなにか」を改めて学ぶ

熊谷悠之 通信員



「ワークライフプラザ」がある会場に会員並びに地協役員54人の参加を得て、学習会を開催した。講師には近藤昭一氏(衆議院議員・立憲副代表)を招き「憲法を考える」をテーマに講演を頂いた。

JAM愛知シニアクラブは、3月25日(土)

今回の学習会は、戦後70年間続いた専守防衛から集団的自衛権の行使を認める憲法解釈



田中ひさや

JAM参議院比例区 組織内候補予定者

働くみんなの力になりたい ものづくりの代弁者を国会へ

JAMは2019年に行われる参議院比例区の組織内予定候補として「田中ひさや」副会長を擁立することを決定した。これを受けて、JAMシニアクラブは第9回定期総会で「田中ひさや」副会長の推薦を決定した。議席獲得に向けてシニアクラブのみなさんご支援をお願いします。

の変更がなされ、集団的自衛権行使を認める

「安全保障関連法案」

が強行採決・可決された。また、今国会において

は立憲主義を原理とした最高法規とされ

る憲法改正が発議される

ようとしていく。このような背景から今一度

憲法を考える契機となればと開催した。

近藤昭一氏は「その前に憲法とは何かを考

岐阜 18回目の研修会に参加者62人

高齢者が豊かに生きるためには

傍嶋征夫 通信員

JAM岐阜シニアクラブは「第18回研修会」

をサンワーク大垣会場で

来賓8人、会員62人の参加を得て開催した。

主催者の北村務会長と

来賓のJAM東海堀場

貴仁副委員長から挨拶を頂き、講師の佐藤

八千代先生を紹介し、テーマ「高齢者が豊かに生きるために」の講演を受けた。

2017年7月に発

えねばならない」と訴え、憲法は①個人として尊重される権利、②健康で文化的な生活を営む権利、③自由や幸福を求める権利といった国民の権利を明らかにしたものである。すなわち、民主主義(国民主義)、基本的人権の尊重、平和主義の3点が日本国憲法の理念および基本原則として明記されている。

しかし、自民党・安倍政権は改憲に意欲的であり、憲法改正に関する改憲草案を発表し、現憲法の「基本的人権の尊重」「民主主義(国民主権)」「平和主義」は守られず、基本的人権が「公益と公的秩序に反する」という名のもとで著しく制限される等問題点が多いと指摘された。

問題点は①全体的に天皇を元首とする国家主権志向。②現憲法の根本理念である「個人の尊重」が無視され、国民は国家を構成する概念的な「人」として扱われる。③現憲法の基本的人権は侵すことが出来ない永久の権利の第97条が削除されている。④現憲法の「天皇など公人の憲法尊重義務」をなくし公人より先に「全て国民はこの憲法を尊重しなければならぬ」など国の暴走を防ぐ本来の憲法(立憲主義)に反する内容となっている。

立憲民主党の憲法に関する基本姿勢は、「国家権力の正当性の根拠は憲法にあり、あらゆる国家権力は憲法によって制約、拘束される」という立憲主義を守り回復させる。憲法に関する議論は立憲主義をより深化・徹底する観点から進める。いわゆる護憲・改憲の二元論とは異なる、「立憲的憲法論議」を基本スタンスとする。結び、講演は終了した。意見交換では米軍基地問題、働き方関連法案などの質問・意見が出され2時間を超える学習会となった。



見つけだす。自治会やボランティア活動、家庭菜園、カフェオケ、お稽古事を仲間と楽しむ場に入り込むことにより意欲が湧き生き甲斐を得ることが出来るのではないだろうか。三つ目は豊かな老後生活を送るにはお金が必要となる。これこそしっかりとしていなければいけません。健康でも生き甲斐があっても人生を満喫することが出来ません。個人差はあるが、現在保有している資産を算出し、老後のために少しでも貯蓄額を増やして、生活内容を見直し支出額を削減する。それぞれ家庭の中で家計の話をしながら日々過ごして頂ければと思いますと話された。

私自身講演を聞く中、平日頃健康で田畑作業の合間自治会の仕事をさせて頂けることは、お金では買えない幸せではないかと思うと共に、この研修会に参加して大変良い勉強にもなった。今回第18回目の研修会を開催したところ、今までにない会員の皆さんの参加とご協力を頂いた。